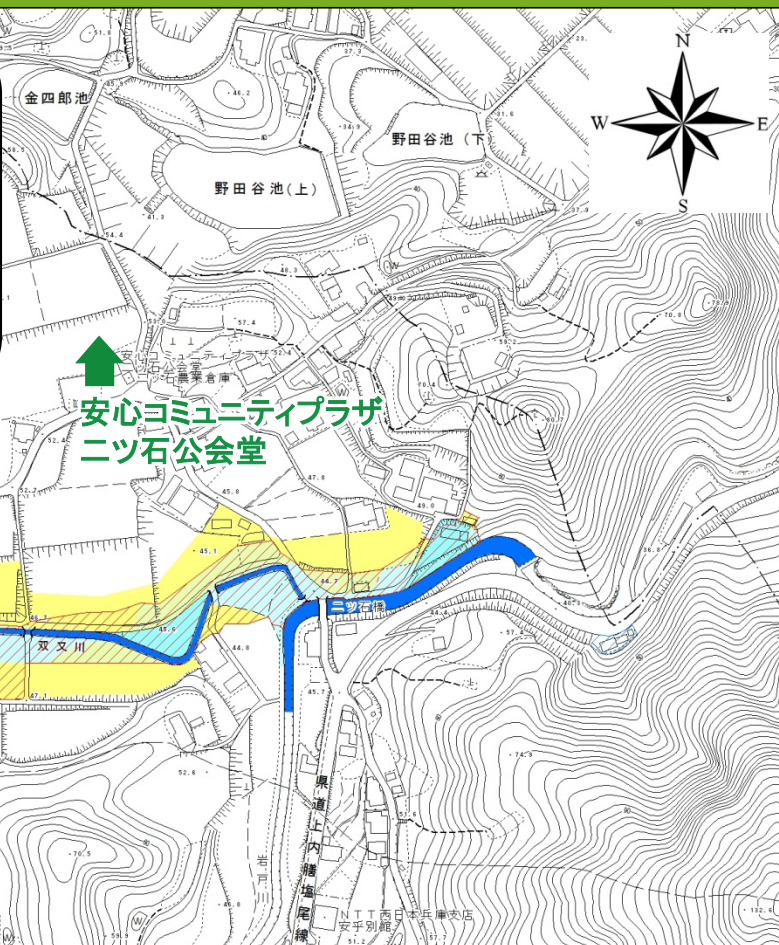


ため池ハザードマップ

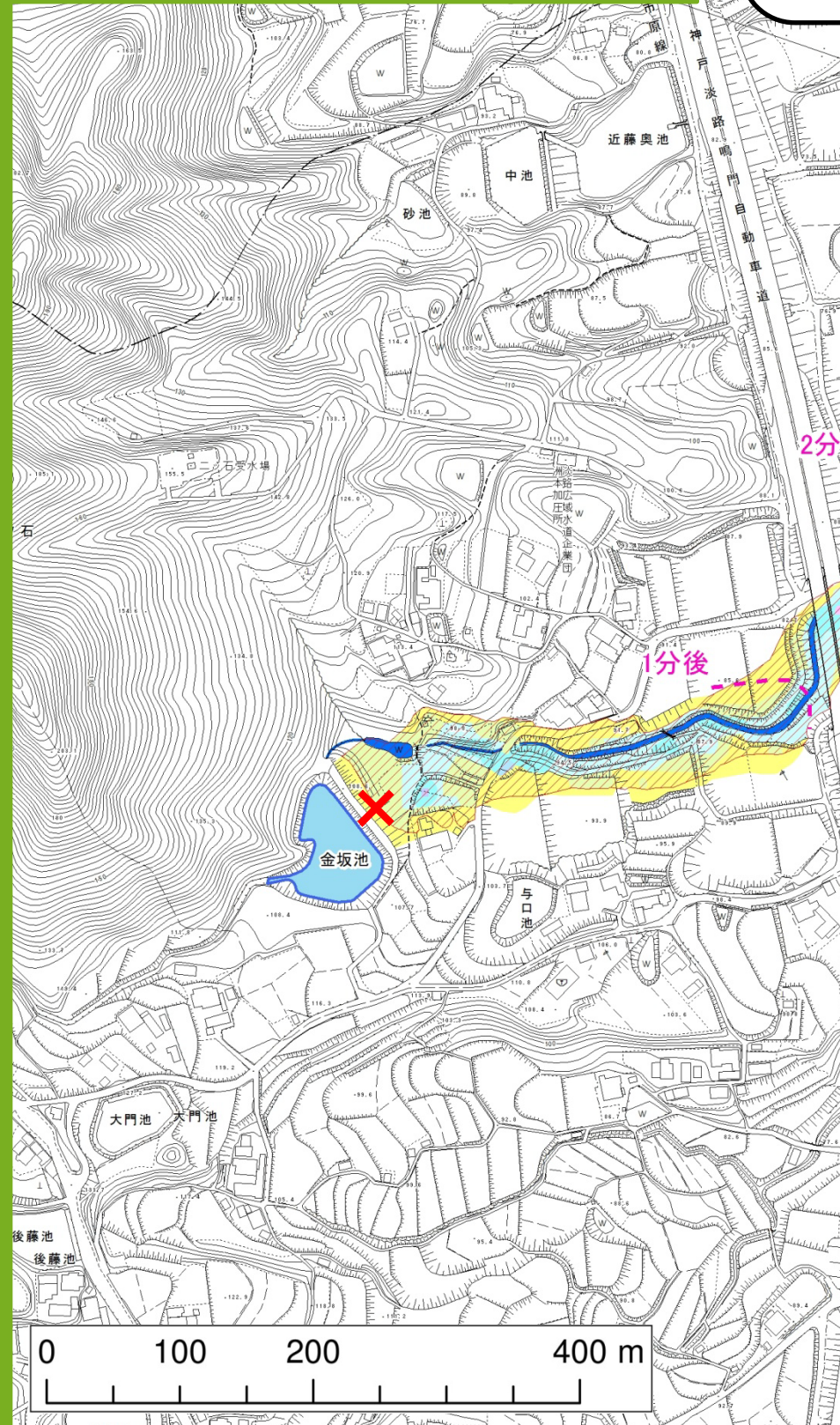
金坂池

この地図は、農業用ため池の「金坂池」が、地震などによって大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊し、「金坂池」の貯水量の水が流れ出て、洪水が発生した場合を想定し、そのはん濫水が到達する可能性のある区域と、予想される浸水の深さを表示したものです。

実際のはん濫水の影響のある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もありますが、地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げる」ことが何よりも大切です。
地域の皆さんでこの地図をご活用いただき、地震時の安全確保に努めてください。



↑
安心コミュニティプラザ
ニツ石公会堂



凡例	
.....	到達時間
////	歩行困難区域
	注意の必要な範囲
■ (Yellow)	0.5m未満
■ (Light Green)	0.5~1.0m
■ (Light Blue)	1.0~2.0m
■ (Medium Blue)	2.0~3.0m
■ (Dark Blue)	3.0~4.0m
■ (Purple)	4.0~5.0m
■ (Dark Purple)	5.0m以上
×	想定した破堤地点
↑	その他の避難施設

地震 その時10のポイント

(東京消防庁作成)

地震だ！ まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れが納まるまで様子を見る。

[高層階(概ね10階以上)での注意点]

- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

地震直後の行動

<h5>落ちついて火の元確認初期消火</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。 ●出火した時は、落ち着いて消火する。 	<h5>あわてた行動けがのもと</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。 ●瓦・窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。 	<h5>窓や戸を開け出口を確認</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確認する。 	<h5>門や塀には近寄らない</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。
---	---	---	---

地震後の行動

<h5>火災や津波 確かな避難</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。 ●沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。 	<h5>正しい情報 確かな行動</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。 	<h5>確かめ合おう 我が家の安全隣の安否</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●我が家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。 	<h5>協力しあって 救出・救護</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。 	<h5>避難の前に 安全確認 電気・ガス</h5> <ul style="list-style-type: none"> ●避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。
--	---	--	---	--

